

地域ぐるみの子育てに参加しませんか 育もう 地域の愛で 子どもの未来



子どもたちを健やかに育むためには、学校教育や家庭でのしつけだけでなく、地域社会の中での、さまざまな人との関わりや体験が必要です。本市でも、地域ぐるみの子育てを推進しており、取り組みが進んでいます。未来を担う子どもたちのため、私たちに何ができるのでしょうか。

期待される 地域での教育

子どもは、これからの変化の激しい社会を生きるために、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、問題を解決する資質や能力などの「生きる力」を身に付けることが求められています。

子どもにとって、地域は、さまざまな年齢層や立場の人たちと触れ合うことができ、社会経験を積み重ねることのできる「場」です。

しかし、以前に比べて地域の教育力が低下していると感じている人は多いのではないのでしょうか。

緩やかな人間関係 ナナメの関係

こうした地域との関わり
の「場」を確保するため、本市では「ナナメの関係」作りを進めています。ナナメの関係とは、先生と生徒、親と子といった「タテの関係」、同年代の友達、兄弟などの「ヨコの関係」ではない、地域の大人や年の離れた友達、親類などの緩

ナナメの関係



先生
親



地域の大人
年の離れた友だち
親類



同年代の
友だち
兄弟

子ども

タテの関係

ナナメの関係

ヨコの関係

やかな人間関係のことです
(右のイラスト)。

このナナメの関係作り
に取り組んでいるのが、学校
やPTA・自治会などの地
域団体・企業などで構成す
る「魅力ある学校づくり地
域協議会」と「宮っ子ス
テーション」です。

地域に根ざした活動 魅力ある学校づくり 地域協議会

魅力ある学校づくり地域協議会は、学校やPTA、自治会などの地域団体、企業などが一体となって地域の子どもを心豊かでたくましく育むために、ともに考え、協力し行動する組織です。学校を拠点に、地域の特性を生かした「学校教育

の充実」と「家庭・地域の教育力向上」に向けた活動に取り組んでいます。

▽活動拠点 全市立小・中学校。

▽活動内容 除草・花壇作りなど学校環境作りや、教科指導補助など教育活動への支援など。

▽ボランティア募集 学校のさまざまな活動を支援するボランティアを募集しています。参加には、各小・中学校や教育委員会が募集するボランティア制度(街の先生)に登録するか、各協議会が自治会回覧板などでお知らせする広報紙などをご覧ください。街の先生

教育課 ☎(632)2797へお問い合わせください。



アジサイの花に込められた
たくさんの思いと地域の絆

明保小学校は、アジサイに囲まれた学校です。このアジサイは、学校・PTA・地域で大切に育てています。

夏の剪定には、多くの人たちが、「通学路になっているので子どもたちの見守りになれば」「植物が好きだから手伝ってみよう」などの思いから協力してくれています。そんなさまざまな思いの人たちをつないでいくのが、私たち地域コーディネーターです。「アジサイ」の取り組みをきっかけに子どものために何かしたいと学校に集った人たちのつながりが、今では地域のつながりにも波及しつつあります。

できる時に、できることを、できる範囲でやってみませんか。皆さんの地域にも、思いが詰まった「花」があると思います。明保小学校のアジサイはこれからが見頃です。まずはお花を見に、学校に足を運んでみてはいかがでしょうか。

明保小学校
魅力ある学校づくり地域協議会
地域コーディネーター **大島 和枝さん**



自分自身も楽しみながら
子どもと楽しく学んでいく



上戸祭小学校
宮っ子ステーション
コーディネーター **齋藤 順子さん**

放課後の時間を活用して、子どもたちにさまざまな体験や世代間交流を楽しんでもらおうと、放課後子ども教室の活動内容の企画や場所の調整を行っています。子どもたちも、放課後ということもあるのか、のびのびと参加し、講師の皆さんと楽しく活動しています。

以前はPTAとして学校活動に参加していましたが、子どもの卒業後、学校と関わりがなくなってしまうことを寂しく思い、コーディネーターを始めました。専業主婦なので、この活動は外に出るきっかけにもなりますし、普段は関わるできないさまざまな人たちと知り合いになることができ、刺激になっています。

皆さんも、子どもたちと楽しみながら、一緒に地域教育を盛り上げていきましょう。



1 放課後子ども教室
希望する児童を対象とした、放課後の学習や、工作、料理教室、昔遊び、スポーツなどの体験活動の場。

2 子どもの家・留守家庭児童会
留守家庭児童を対象とした、放課後のおやつや遊びなどの生活の場。



宮っ子ステーションは、全ての児童の体験や交流の場である「放課後子ども教室」と、留守家庭児童の生活の場である「子どもの家・留守家庭児童会」の2つの事業を一体的に実施する、放課後の安全安心な子どもの居場所です（上のイラスト）。

放課後の安全安心な
子どもの居場所
宮っ子ステーション

1 放課後子ども教室
▽活動拠点 50小学校区。
今後、全市立小学校区での実施を目指します。
▽対象児童 活動を希望する小学生。
▽協力者募集 趣味や仕事で得た技能などを生かして子どもたちの活動にアドバイスできる人、特別な技能がなくても子どもたちの活動の見守り・声掛けに協力できる人を募集しています。詳しくは、生涯学習課へお

問い合わせください。
2 子どもの家・留守家庭児童会
▽活動拠点 66小学校区。
▽対象児童 昼間、保護者が家にいらない小学生。
▽その他 この活動は専任の指導員が対応しています。
子どもと大人が集まる居場所へ

子どもたちは、さまざまな体験から多くのことを学ぶとともに、地域の大人とのきずながつくられることで、コミュニケーション能力などの「生きる力」を身に付けていきます。
また、大人も活動を通して、子どもとのきずなはもちろん大人同士のきずなも深まっているようです。
未来を担う子どもたちのため、できることから始めてみませんか。
6 生涯学習課 ☎(632) 267

◎技能五輪全国大会・全国アビリンピックの選手候補者募集 技能五輪全国大会・全国アビリンピックは、平成29年秋に栃木県で開催予定の、それぞれ若者および障がい者の技能レベルを競う大会です。両大会について、詳しくは、県HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/f06/2017zenkokutaikai.html> をご覧になるか、県労働政策課 ☎(623) 3542へお問い合わせください。